

【FdData 中間期末：中学社会地理：中国・四国】  
【農業】

【問題】(3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 高知平野では、かつて、1年の間に同じ耕地で米が2度栽培されていた。1年間で同じ耕地で同じ作物を2度作る栽培方法を何というか。
- (2) 現在、高知平野では、温暖な気候を利用して冬に季節はずれの野菜を作る農業がさかんである。この農業を何というか。4字で答えよ。

【解答】(1) 二期作 (2) 促成栽培

【解説】

【高知平野の農業】

冬でも温暖な気候

↓  
かつて、米の二期作

↓  
現在は、ビニールハウス  
で野菜の促成栽培

(なす、ピーマン、きゅうり)

利点：価格の高い時期に出荷することができる



こうち おんだん だんりゅう  
高知平野は冬でも温暖である。これは、暖流であ  
る黒潮(日本海流)が沖合を北上しているためであ  
る。

高知平野では、かつては温暖な気候を利用した米  
の二期作がさかんであった。(二期作とは1年間で  
同じ耕地で同じ作物を2度作ることである。)

しかし、現在では、温暖な気候を利用して野菜の  
出荷時期を早める促成栽培がさかんである。たと  
えば、なすは冬から春にかけては、露地栽培もの  
が季節はずれになるため、値段が高くなる。冬か  
ら春にかけて出荷できるようにビニールハウスを  
利用して生長を早める促成栽培を行い、鮮度を保  
つための冷凍庫のついたトラックで東京や大阪な  
どの大都市へ出荷している(高速道路網の発達に  
よって輸送時間が短縮されたため、野菜の鮮度を  
保つことができるようになった)。このようなビニ  
ールハウスなどの施設を使った農業を施設園芸農  
業という。

高知平野で促成栽培している野菜としては、なす  
(高知県のなすの生産は日本1位)、ピーマン(日本  
3位)、きゅうりなどがある。(2011年)

### [問題](3 学期)

四国の南側では、温暖な気候をいかして、かつて二期作が行われていた。二期作について正しく説明しているものを次のア～ウから 1 つ選べ。

- ア 1年間で同じ耕地で同じ作物を2度作ること。
- イ 1年間で同じ耕地で違う作物を2回作ること。
- ウ 温暖な気候の為、他の地域より早く作物を育てること。

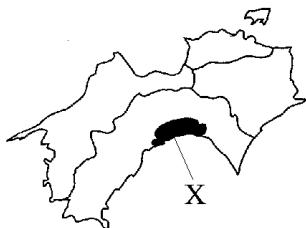
[解答]ア

[解説]

アは二期作，イは二毛作，ウは促成栽培の説明である。

[問題](後期中間)

次の各問いに答えよ。

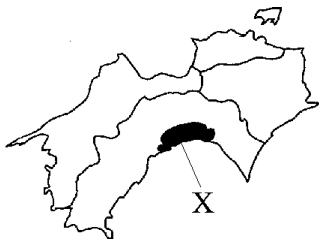


- (1) 地図中の X の平野では、温暖な気候を利用して、通常の出荷よりも時期を早めて収穫・出荷する栽培方法がとられている。このような栽培方法を何というか。
- (2) (1)の栽培方法が行われている野菜として、あてはまらないものを次の[ ]の中から1つ選べ。
- [ きゅうり なす じゃがいも ピーマン ]

[解答](1) 促成栽培 (2) じゃがいも

[問題](2学期中間)

図中のXの平野に関する次の文の①～④に適語を入れよ。



この平野では、( ① )気候を利用して野菜を通常より早く育てる( ② )栽培がさかんである。主な作物は、きゅうりやなすや( ③ )で、( ④ )ハウスも利用されている。

[解答]① 暖かい ② 促成 ③ ピーマン  
④ ビニール

[問題](2 学期期末)

中国・四国地方の農業について、次のグラフを見て各問いに答えよ。

高知県の農業産出額の推移

		果実3.4			
1960年 203億円	米 43.1%	野菜 15.5	畜産 15.2	その他 22.8	
2009年 983億円	13.1	57.2		10.6	8.4 10.7

ひろみ：高知県では( ① )の生産中心から  
( ② )の生産中心に変化してきたんだね。

かずお：冬でも( ③ )な気候を利用して、以前は(①)を1年に2回栽培する( ④ )もさかんだったんだよ。

ひろみ：現在は、高知県では( ⑤ )を使って(②)を栽培しているよ。a 生長を早めて生産する( ⑥ )がさかんなんだ。

かずお：(②)は新鮮さが大切だよ。どうして遠い市場に出荷できるようになったのかな？

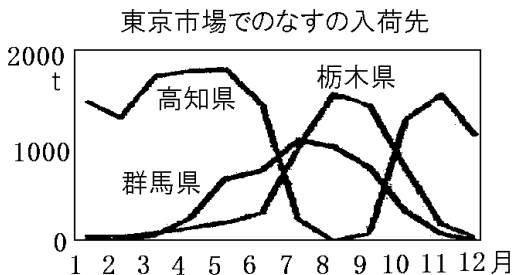
ひろみ：( A )からよ。

- (1) 会話文中の①～⑥にあてはまる語句を答えよ。
- (2) 会話文中の下線部 a のような栽培方法について、このような栽培方法がさかんな理由を答えよ。
- (3) 会話文中のひろみさんの会話の( A )にあてはまる文を考えて、答えよ。

[解答](1)① 米 ② 野菜 ③ 温暖 ④ 二期作  
⑤ ビニールハウス ⑥ 促成栽培 (2) 生長を早めることにより、他の地域の生産量が少ない時期に高い値段で売ることができるから。  
(3) 高速道路などの交通網が発達した

[問題](3学期)

次のグラフのように、高知では、ほかの2つの県とくらべて、なすの出荷時期が早いですが、出荷時期を早める利点(良い点)は何か。「価格」「生産量」の2つの語句を使って答えよ。

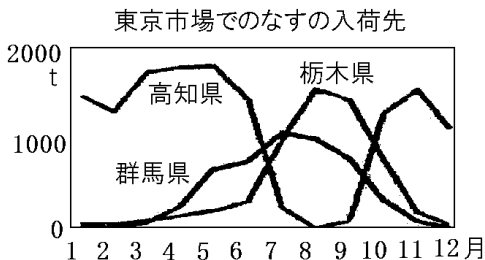


[解答] 生長を早めることにより、他の地域の生産量が少ない時期に高い価格で売ることができるから。



[問題](3 学期)

高知平野では、なす・ピーマン・きゅうりなどの促成栽培がさかんである。



- (1) 促成栽培とはどのような栽培方法か。
- (2) なぜ、促成栽培が行われているのか、上の資料を参考にして説明せよ。
- (3) 高知平野以外で促成栽培がさかんな地域を、次の[ ]から選べ。

[ 宮崎平野 鳥取平野 長野盆地  
仙台平野 ]

- [解答](1) 出荷時期を早める工夫をした栽培方法。  
(2) 生長を早めることにより、他の地域の生産量が少ない時期に高い値段で売ることができるから。  
(3) 宮崎平野

[問題](3 学期)

次の図の X の平野で、かつて、農業用水を確保するためにつくられた池を何というか。

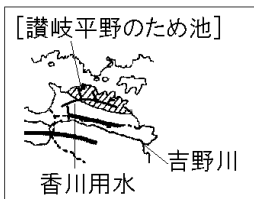


[解答]ため池

[解説]

かがわ  
香川県は、瀬戸内の  
気候で雨が少ない。

また、大きな河川が  
ないため、昔から水  
不足による<sup>かん</sup>干ばつ(  
<sup>かんがい</sup>干害)に悩まされて



きた。農業用水を確保するために、昔からため池  
がつくられてきた(讃岐平野には 2 万近くのため  
池がある)。

近年、徳島県の<sup>よしの</sup>吉野川から水を引く<sup>かがわようすい</sup>香川用水が完  
成し、以前ほどため池の役割は高くなくなってい  
る。

### [問題](2 学期期末)

香川県は、瀬戸内の気候のために雨が少なく、ため池が多い。水不足を解消するため徳島県の吉野川から用水がひかれた平野を何とというか。

[解答]讃岐平野

### [問題](3 学期)

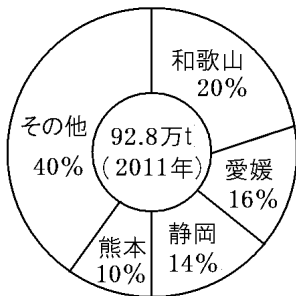
瀬戸内には、ため池が多くみられるが、それはなぜか。「山地」「季節風」の2つの語句を使って説明せよ。

[解答]夏の南東の季節風は四国山地にはばまれ、冬の北西の季節風は中国山地にはばまれるため、1年を通して降水量が少ないから。

[問題](前期中間)

次のグラフは愛媛県でさかんに栽培されているある作物の生産を表している。この作物は何か。下の[ ]から選べ。

[みかん 米 茶 さつまいも]



[解答]みかん

[解説]

[愛媛県のみかん: 日本2位]



瀬戸内地方の温暖な冬と、雨の少ない乾燥した夏の気候は、みかんなどの果実の栽培に適している。

愛媛県の海岸沿いの段々畑ではみかんが栽培され、全国で2位の生産をあげている。

\*みかんの生産順位(2011年)

和歌山県(20%)、愛媛県(16%)、静岡県(14%)、熊本県(10%)、佐賀県(6%)、長崎県(6%)

[問題](3学期)

地図を見て、次の各問いに答えよ。



- (1) 地図中の X ではみかんの栽培がさかんである。X の地域をはじめ瀬戸内海沿岸では果実栽培がさかんであるが、それはなぜか。説明せよ。
- (2) X がある県の名前を書け。

[解答](1) 温暖な冬と雨の少ない乾燥した夏の気候が、果実栽培に適しているから。(2) 愛媛県

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。



- (1) 図中の X の県にある砂丘を何というか。
- (2) (1)の地域でさかんに行われている農業を次のア～ウから 1 つ選べ。

ア ピーマン・なす・きゅうりなどの促成栽培

イ 雨が少ない気候に適したぶどうの栽培

ウ 水がしみこみやすい土地でのらっきょうやメロンの栽培

[解答](1) 鳥取砂丘 (2) ウ

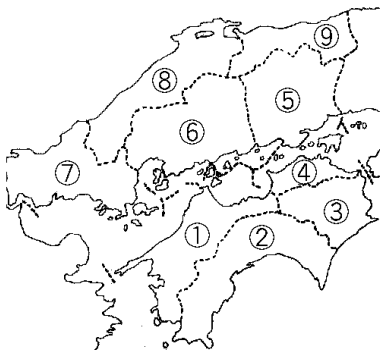
[解説]



鳥取県の鳥取砂丘は、かつては不毛の地であったが、防風林や防砂林を築き、地下水を使ってかんがいを行い、砂丘開発を行ってきた。その結果、現在は、らっきょう、長いも、すいか、メロンが栽培されている。そこで研究されている農業技術は、世界の乾燥地域の緑化や農業開発に役立っている。

【問題】(2 学期期末)

次の説明文にあてはまる県名を答え、その位置を地図から選び番号で答えよ。



- (1) この県にある砂丘は日本一であり、この砂丘ではスプリンクラーを利用して、らっきょう・ながいも・メロンなどの栽培がさかんである。
- (2) この県の海岸沿いの段々畑ではみかんが栽培され、全国で第2位の生産をあげている。
- (3) この県では、冬でも温暖な気候を利用してなす、ピーマンなどの野菜の促成栽培がさかんである。
- (4) この県の讃岐平野では、瀬戸内の気候で雨が少なく、大きな川もないので昔からため池がつくられてきたが、1974年に吉野川から水を引く用水が完成した。



[解答](1) 鳥取県, ⑨ (2) 愛媛県, ①  
(3) 高知県, ② (4) 香川県, ④

◆社会地理の各ファイルへのリンク

<http://www.fdttext.com/dp/sc4/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

[http://www.fdttext.com/dp/qanda\\_k.html](http://www.fdttext.com/dp/qanda_k.html)

◆製品版(パソコン Word 文書 : 印刷・編集用)  
の価格・購入方法

<http://www.fdttext.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は,  
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : [info2@fdtext.com](mailto:info2@fdtext.com)